

別表(第2条関係)

設備の種類	要件
太陽光発電システム	<p>ア 次の数値のうちのいずれかが 10kW 未満の太陽光発電システムであること。なお、増設等の場合においては、既設分を含めて 10kW 未満のものであること。</p> <p>(1) 太陽電池の公称最大出力(対象システムを構成する太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値。太陽電池モジュールの公称最大出力とは、日本産業規格(以下「JIS」という。)に規定されている太陽電池モジュールの公称最大出力とするが、IEC 等の国際規格も可とする。kW 表示とし、小数点以下2位未満は切り捨てる。)</p> <p>(2) パワーコンディショナの定格出力(対象システムを構成するパワーコンディショナの定格出力の合計値。定格出力は JIS に基づく。kW 表示とする。)</p> <p>イ 太陽電池モジュールのセル実効変換効率(モジュール化後のセル実効変換効率)がそれぞれ次に示す数値以上のものであること。</p> <p>(1)シリコン単結晶系太陽電池 16.0%</p> <p>(2)シリコン多結晶系太陽電池 15.0%</p> <p>(3)シリコン薄膜系太陽電池 8.5%</p> <p>(4)化合物系太陽電池 12.0%</p> <p>※算出方法:JIS C 8960 において定められた実効変換効率を基にした次式又は同等と認められる式にて算出するものとする。</p> $\text{セル実効変換効率} = \frac{\text{モジュールの公称最大出力}}{\text{(太陽電池セルの合計面積} \times \text{放射照度)}}$ <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽電池セルの合計面積=1セルの全面積×1モジュールのセル数 ・ 1セルの全面積には、セル内の非発電部を含む。ただし、シリコン薄膜系及び化合物系のセル全面積には、集積部を含まない。 <p>ウ 中古品ではないこと。</p>
太陽熱利用システム	<p>ア 一般財団法人ベターリビングの優良住宅部品 (BL 部品) の認定を受けたものであること。</p> <p>イ 中古品ではないこと。</p>
ヒートポンプ式電気給湯器 (通称:エコキュート)	<p>ア 日本冷凍空調工業会規格 JRA4050 に基づく年間給湯効率が 3.1 以上(寒冷地・塩害地向け機種、2缶タイプ、角形1缶タイプ、200リットル以下の小容量タイプ、一体型タイプ及び多機能タイプについては、2.7以上)のものであること。</p> <p>イ JRA4050 に基づく年間給湯効率の表示がない場合は、JIS C9220 に基づく年間給湯保温効率が 2.7 以上又は年間給湯効率が 3.1 以上(240リットル未満の小容量タイプ(一体型を含む。)、多缶式タイプ(薄型2缶等)及び多機能タイプについては、年間給湯保温効率又は年間給湯効率が 2.4 以上)のもので</p>

	<p>あること。</p> <p>ウ 中古品ではないこと。</p>
<p>潜熱回収型高効率ガス給湯器 (通称：エコジョーズ)</p>	<p>ア 潜熱を回収するための熱交換器を備えているものであること。</p> <p>イ 給湯熱効率が90%以上のものであること。</p> <p>ウ 定格給湯能力が60号以下のものであること。</p> <p>エ 都市ガス又はLPガスを燃料とするものであること。</p> <p>オ 中古品ではないこと。</p>
<p>家庭用燃料電池コージェネレーションシステム (通称：エネファーム)</p>	<p>ア 一般社団法人燃料電池普及促進協会 (FCA) が登録した機器であること。</p> <p>イ 中古品ではないこと。</p>
<p>家庭用蓄電池</p>	<p>ア 蓄電池容量が1kWh以上で、かつ、定格出力が500W以上のものであること。</p> <p>イ 蓄電池、充電器及び変換装置が一体となったものであること。</p> <p>ウ 中古品ではないこと。</p>
<p>V2H (ビークル・トゥ・ホーム) システム</p>	<p>ア 一般社団法人次世代自動車振興センターが実施する「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」の補助対象機器として登録されているものであること。</p> <p>イ 中古品ではないこと。</p>
<p>薪ストーブ</p>	<p>ア 二次燃焼等により排煙を減少させる機能を有するものであること。</p> <p>イ 中古品ではないこと。</p>
<p>ペレットストーブ</p>	<p>中古品ではないこと。</p>
<p>断熱改修工事 (開口部、外壁、屋根・天井、床)</p>	<p>ア 国の子育てエコホーム支援事業の対象となるもの。</p> <p>イ リフォーム工事であること。</p>